

「レアメタル確保戦略」のポイント

＜主なレアメタルの使用例＞

レアース ハイブリッド車用モーター等に使用される高性能な磁石に使用 	プラチナ 自動車や重機の排ガス浄化用触媒及び化学プラントに使用 	リチウム リチウムイオン電池に使用 	タングステン ドリルやカッター等超硬工具に使用 	インジウム 薄型テレビ用液晶パネルの透明電極に使用 	ガリウム 発光ダイオードに使用 
---	--	--	--	---	--

＜携帯電話に使用される主なレアメタル＞



- 液晶画面: インジウム
- IC-LSI: 金
- カメラ: ニッケル、金
- コンデンサ: パラジウム、ニッケル、タンタル
- イヤホンジャック: 金
- リチウムイオン電池: リチウム、コバルト
- パイレーションモーター: レアース

レアメタルを取り巻く課題

…＜さらに＞…

希少性、偏在性	世界規模の消費拡大	資源ナショナリズムの台頭	資源獲得競争の激化	新エネ、省エネ、環境対策分野等での需要拡大
---------	-----------	--------------	-----------	-----------------------

新経済成長戦略フォローアップと改訂
(平成20年9月閣議決定)
『「資源大国」を目指した資源エネルギー供給革命』の実現、レアメタルは「資源確保のみならずリサイクル等も含めた総合的なレアメタル確保戦略を策定する」旨決定

我が国産業競争力を支えるレアメタルの安定供給のためには、総合的な戦略を策定し、我が国関係者の総力を結集し、中長期にわたり取り組む必要がある。

集中的・戦略的取組

- 優先度を見極めた集中的・戦略的な取組
→レアメタルの優先度を見極め、優先度が高い重要なレアメタルについて、特性に応じた集中的・戦略的な取組
- 資源供給に直接関連する事項に加え、今後需要増大が見込まれる新エネ・省エネ製品の動向等からの評価
→優先度を見極める上で、需要動向、鉱山開発動向、生産集中度、資源偏在性等に加え、新エネ・省エネ製品の動向、技術開発動向、企業戦略等から評価

レアメタル確保に向けた4つの柱の強化

①海外資源確保 ＜資源外交の戦略的取組＞ ○資源国との戦略的互惠関係の構築 ○鉱山周辺インフラ整備等へのODAツールの活用 ○技術移転、環境保全協力等我が国の強みを発揮した協力 ＜資源開発＞ ○重要なレアメタル資源の権益確保 ○JOGMEC、JBIC、NEXI、JICAの連携によるリスクマネー供給 ○我が国周辺海域の海底熱水鉱床等への計画的な取組	②リサイクル ○重要なレアメタルのリサイクルシステム整備 ○携帯電話、デジカメ等小型家電のリサイクルシステムの構築と強化 ○アジア大の資源循環システムの構築	③代替材料開発 ○重要なレアメタルの代替材料開発等の取組 ○ナノテク等我国最先端技術の結集による取組強化 ○産業連携体制、研究開発拠点の整備	④備蓄 ○需給の動向等に応じた機動的な取組 ○コバルト、タングステン、バナジウム、モリブデンの備蓄積増 ○インジウム、ガリウムの追加
---	--	--	--

レアメタル確保に向けた共通基盤の整備

資源人材育成 ○産学連携による国内資源人材の育成 ○ロードマップ策定等による計画的・戦略的な新興資源国の資源人材育成への貢献 ○資源分野の国際的な人的ネットワーク構築	技術力強化 ○我が国技術力を強みとする権益確保 ○資源分野の技術力強化のための技術開発の推進	一体的取組 ○関係省庁・関連支援機関との連携強化 ○ユーザーを含むサプライチェーンを構成する産業の一体的取組の強化
---	---	--